

# 平成9年度

# 施政方針



## ＝平成9年度 施政方針＝

ここに、平成9年度の一般会計予算をはじめ、市政運営についての所信の一端と、施策の概要についてご説明申し上げます。市民の皆様への深いご理解と、一層のご協力をお願い申し上げます。

私は、市長に就任以来この蒲郡を「もっと豊かに・もっと美しく・もっと優しいまちに」をモットーに、市民の皆様が「蒲郡に生まれ、蒲郡に住んでよかった。」と実感でき、誇りに思っていただけではありません。ちづくりのため、皆様との対話を図りながら、職員とともに努力してまいりましたが、本任期仕上げの年として、全力を尽くしていく所存であります。

今日、我が国は、少子化、高齢化、高度情報化及び国際化という社会情勢の変化に加え、低迷する景気の浮揚対策、多様化かつ増大す

る行財政需要の対応、行財政改革など様々な課題を抱えております。政府は、財政再建のため、平成9年度を財政構造改革元年と位置づけ、歳出の厳しい抑制、公債発行額を8年度当初発行予定額より大幅に減額するなど、財政の健全化に向け、財政構造の改革を強力に推進することといたしております。

地方公共団体に対しても、財源の重点的かつ効率的な配分を行い、節度ある財政運営を図るようにより要請しており、一層厳しい行財政運営が求められているところであります。

本市にあつては、道路、公共下水道など生活に密接に関連した社会資本の整備、少子化・高齢化等に対応した福祉施策、人にやさしいまちづくり、地域情報化や国際交流の推進など、諸施策の積極的

な実施が望まれているところであり、また、定員の適正化、事務処理の効率化や行政サービスの向上等に取り組んできたところであり、このたび国からの指導により、市民の意向を十分に踏まえた行政改革の大綱策定・推進と、情報公開の制度化が求められています。

こうした社会経済情勢の変化、市民のニーズを的確にとらえ、「清潔」と「公開」、「実行」と「改革」を政治理念として、

第1に「市民と交流し、文化あふれる蒲郡づくり」

第2に「優しさと安らぎと感性あふれる蒲郡づくり」

第3に「いきいきときめき活力ある蒲郡づくり」

に全力を傾注してまいりる決意であります。

平成9年度につきましては、新市民病院及びクリーンセンターの建設が8年度で完了いたしますので、新たに高度情報化の拠点施設となる（仮称）海洋情報センター及び新看護専門学校の建設に着手してまいります。

また、大塚町丸山地区での市営住宅の建設が完成年を迎えるのをはじめ、鉄道高架、幹線道路、下水道及び土地区画整理事業など、

各種大型プロジェクト事業の進捗に伴い多額の事業費が必要となります。

一方、財源面では、市税収入の大幅な伸びは見込めず、モーターボート競走事業においても、新年度はSG競走の開催がなく、かつ一般レースの1日当たりの売上高が下がっていることから、競艇事業収入も非常に厳しい状況にあります。

このため、平成9年度の子算編成にあたっては、将来の財政負担に十分配慮し、中・長期的な健全財政を堅持することを基本姿勢として、行政経費の節減・合理化を図るとともに、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努め、各種事業の優先順位の厳しい選択のもとに、創意と工夫を凝らしたところであり、

平成9年度の子算は

一般会計	280億7千万円
特別会計	957億6千322万円
企業会計	116億7千450万円

の総額1千555億72万円です。

一般会計は、前年度の当初予算と比較して9・3%の減少、総額では26・9%減少の緊縮型予算となっております。

以下、主な施策の概要につきまして、順次ご説明申し上げます。